

## 平成 17 年度当初予算 施策別概要

### 4 2 1 自然環境の保全・再生と活用

(主担当部局：環境森林部)

|       |              |         |
|-------|--------------|---------|
| 42101 | 多様な自然環境の保全   | (環境森林部) |
| 42102 | 生物の多様性の確保    | (環境森林部) |
| 42103 | 自然とのふれあいの確保  | (環境森林部) |
| 42104 | 河川・湖沼等の保全・再生 | (県土整備部) |
| 42105 | 海浜の維持・保全と再生  | (県土整備部) |
| 42106 | 自然環境保全の研究の推進 | (総合企画局) |

#### < 施策の目的 >

(対象) 自然環境が

(意図) 地域の自然的社会的条件に応じて保全・再生・活用されている

#### < 施策の数値目標 >

| 目 標 項 目           |          | H 1 5 年度 | H 1 6 年度 | H 1 7 年度 | H 1 8 年度 |
|-------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 多様な自然環境の保全面積 (ha) | 目 標 値    | -        | 50,050   | 52,300   | 52,350   |
|                   | 実績(見込み)値 | 50,020   | 50,040   |          |          |

「自然公園特別地域の面積」、「自然環境保全地域特別地区の面積」、「里地里山保全活動計画の認定面積」の合計面積

#### < 平成 17 年度に残っている課題 >

県民の自然環境に対する認識の高まりに伴い、里地里山など身近な自然の大切さが見直されていることから、地域の人々が主体となった保全活動をより一層促進する必要があります。

県内の野生動植物に関する調査を進め、希少な野生動植物の生息・生育状況を把握し、その結果を踏まえて「三重県版レッドデータブック」を策定する必要があります。

野生動植物に関する各種情報について県民との共有を促進するとともに、第9次鳥獣保護事業計画に基づく鳥獣保護区等の設定などを進める必要があります。

自然公園など良好な自然環境とのふれあいを促進するため、公園計画の策定や誰もが利用しやすい施設の整備を進めるとともに、整備された施設の適切な維持管理を図る必要があります。

潤いのある水辺空間や河川環境の保全を図るとともに、自然豊かな海浜の維持・再生を進める必要があります。

自然の消波機能と生態系を育む場である海浜が浸食され、失われつつあります。

針葉樹人工林は、林業の低迷等を背景に、適正な保育・間伐が行われず、森林の多面的機能の低下が危惧されています。

#### < 平成 17 年度の施策の取組方向 >

県民、事業者等による里地里山や身近な自然を守る活動を促進するため、里地里山保全活動認定制度やみんなで自然を守る活動認証制度の普及促進を図り、保全活動を行う団体を支援します。

県内の野生動植物に関する調査を進め、希少な野生動植物の生息・生育状況を把握し、その結果を踏まえて「三重県版レッドデータブック」を作成するとともに、その情報について県民との情報共有を進めます。

野生鳥獣との共生を図るため、第9次鳥獣保護事業計画に基づく鳥獣保護区等の設定などを進めるとともに、散弾の鉛問題に対処するため、非鉛製散弾の使用に関する狩猟者の理解を促

進めます。

県民が自然とのふれあいの機会を増進するため、自然公園施設の整備と利用の促進を図ります。

河川が本来持っている水辺の豊かな自然環境を保全・整備するため、治水との調和を図りながら生態系や景観に配慮した川づくりを進めます。

国土保全のための海岸保全施設の整備に加え、自然の消波機能と豊かな生態系を育む場である海浜の保全・整備や、海浜の浸食を抑制するための施設整備を進めます。

森林の持つ水土保全機能等の多面的・公益的機能の維持増進を図るための調査・研究開発に取り組めます。

#### <主な事業>

自然との共生推進事業【基本事業：42101 多様な自然環境の保全】

当初予算額： 24,046 千円 12,061 千円

事業概要：「レッドデータブック」の作成等を通じ、県内における保全すべき希少野生動植物種や主要な生息地を明らかにし、県民と自然環境情報を共有することにより、県民の自発的な自然環境保全行動を促進し、人と自然が共生できる地域環境づくりを進めます。

生物多様性確保事業【基本事業：42102 生物の多様性の確保】

当初予算額： 7,212 千円 9,438 千円

事業概要：生物の多様性を確保するため、鳥獣保護区等の設定、特定鳥獣保護事業計画に基づく調査等を進めるとともに、野生生物保護啓発ポスターコンクールの実施、野生生物専門アドバイザーの招聘、非鉛製散弾の利用促進対策等を推進します。

自然公園利用促進事業【基本事業：42103 自然とのふれあいの確保】

当初予算額： 30,456 千円 31,895 千円

事業概要：すぐれた自然の風景地を県民の資産として継承するため、自然公園の保護及び利用の適正な管理を行うとともに、安全かつ快適に豊かな自然に親しみ、ふれあえるよう施設の適切な維持管理を行います。

地方特定河川等環境整備事業【基本事業：42104 河川・湖沼等の保全・再生】

当初予算額： 60,000 千円 50,000 千円

事業概要：河川の高水敷に芝を植えたり、遊歩道等を整備することにより、自然豊かな河川環境を創出します。

海岸環境整備事業【基本事業：42105 海浜の維持・保全と再生】

当初予算額： 570,000 千円 561,000 千円

事業概要：県土保全と併せ海岸の利用の増進に資するため、護岸や遊歩道の整備、養浜等により安全で快適な海浜空間を創出します。

(新) 強度間伐による人工林の針葉樹・広葉樹混交林化技術に関する研究事業

【基本事業名：42106 自然環境保全の研究の推進】

当初予算額： 千円 2,450 千円

事業概要：スギ・ヒノキ人工林に強度間伐を行い、強風等の気象災害を回避しつつ、森林内の光環境を改善できる環境諸条件を明らかにし、針広混交林化の技術を開発します。